

「チームで離床を進めるコツ」 小冊子配布について

中村 昌孝

守谷慶友病院

離床推進ファシリテーター E-MATグループ

「離床チームを作りたいけど、何から始めたらよいか?」「離床チームを作ったけど、継続が難しく活動が出来なくなっちゃった」「チーム連携は良いとされているが、どんなエビデンスがあるのか?」などの声がよく聴かれます。我々E-MATファシリテーターは、そのようなチーム連携に悩む方に応えるべく、「チームで離床を進めるコツ」をテーマとして小冊子を作成しました。離床チームによるエビデンスから、チーム連携を行う上で障壁となるもの、チームを運用していく上で知っておくと便利な知識や実際の活動例などがまとめられています。一冊で、チーム連携についての知識がグッと高まる内容になっています。皆さんの離床に対する思いが形になる一冊になれば幸いです。この機会にE-MATに興味を持ってくれた方は、是非、当会のホームページからチーム連携をクリックして下さい。ファシリテーターとして、共に活動いただける方もお待ちしております。我々の活動が皆様の日々の臨床においての一助になれば幸いです。

明日から使える!

チーム連携サポート
マニュアル



このQRコードより
ダウンロードが出来ます ▶



内田篤人さんが医療従事者に向けて応援メッセージを発信

元サッカー日本代表の内田篤人さんが、第12回全国研修会・学術大会に出演しました。講演では、新型コロナウイルス感染症の対応に苦勞する医療従事者に向けて、感謝やリスペクトとともに、激励のメッセージが送られました。

今回は、「困難な時代に勇気をもって立ち向かう!～自らの経験をもとにした医療従事者への応援メッセージ～」というテーマで、現役時代の海外挑戦や日本代表でのチーム連携や、苦難や壁に当たった時のメンタルについて講義がありました。特に、怪我が長引いて選手として大変な中でも「苦しい時こそ、今できることを淡々とやるのが大事」というアドバイスがあり、我々医療従事者にとって参考になる点が数多くありました。

また、後半にはチャットを使った参加者との双方向のやり取りが、予定時間を超過してまで行われ、医療従事者一人一人に声掛けをしていた姿がとても印象的で、内田さんの人気の秘訣を垣間見た時間でした。応援を受けた医療従事者からは、喜びと感激の声が多数挙がっていました。

元サッカー選手と立場は違いますが、苦難に立ち向かって前に進んでいくことや、チーム連携の視点など、第一線で活躍を続けてきた内田さんからのメッセージは、我々の臨床に通じる点も多く、学びになる講演でした。

